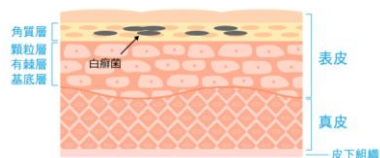


OTC 水虫薬について調べてみた

作成：桜下街（2017.1）

水虫とは

水虫とは、真菌（カビ）の一種である白癬菌が皮膚の角質層に感染・増殖して起こる皮膚の病気のことです。体や股、手にも感染しますが、足への感染が最も多いです。多くは春先から夏にかけて発症し、小胞、皮がむける、かゆみなどの症状を呈します。



足にできる水虫には、右に示すように、大きく3つのタイプがあります。

趾間（しかん）型：

足の指の間（特に中指と薬指の間）が赤く湿って皮がむけたり、白くふやけてびらん状になるのが特徴。

小水疱型：

足の裏の土踏まずや辺縁に小さな水疱ができ、赤くなって皮膚がむけてくる。強いかゆみの特徴。

角質増殖型：

足底、特に足の裏やかかとが乾燥し、角質が厚く硬くなり、皮膚がむけ、ひび割れを伴うのが特徴。

OTC 医薬品の使用が適切かどうか判断しよう

水虫とよく似た症状を示す皮膚疾患として、汗疱性湿疹（小さな水疱が現れ、皮がむけて痒い）、掌蹠膿疱症（足裏に膿がたまった膿疱が数多くできる）、更年期角化症（足裏の角化）等があります。これらは白癬菌を原因とする症状ではないため、水虫薬では治りません。

爪の水虫（爪白癬）や頭部の水虫（しらくも）は、OTC 水虫薬では効果が期待できません。糖尿病の方、ステロイドや免疫抑制剤を使用中の方は難治化しやすいため、また、患部が広範囲、陰のうや粘膜の方、化膿している方は医療機関を受診することをお勧めします。

OTC 水虫薬の使用が適切なのは、足の水虫、いんきんたむし（股部白癬）、ぜにたむし（体部白癬）です。ただし、2～3週間使用しても効果を認めない場合は他の皮膚疾患の可能性があるので、医療機関を受診するようにします。

OTC 水虫薬にはどのようなものがあるのか

OTC 水虫薬には、抗白癬菌成分および鎮痒を含む複数の成分が配合されています。

分類	成分例	作用・特徴
抗真菌成分	ブテナフィン塩酸塩	白癬菌に対する強い抗菌作用
鎮痒成分	クロタミン	痒みを抑える
角質軟化成分	尿素	角質を軟化する
殺菌・消毒成分	イソプロピルメチルフェノール	皮膚表面を殺菌する
抗炎症成分	グリチルレチン酸	皮膚炎症を抑える

OTC 水虫薬の選び方や使い方で注意したいこと

OTC 水虫薬の選び方

水虫薬には、クリーム剤、軟膏剤、液剤、スプレー剤等があり、患部の症状に合わせて剤型を選ぶとより効果が期待できます。下記は症状に合わせた選び方の一例です。

症状の例	剤型	特徴
水泡ができ、つぶれていない	クリーム剤	患部に適量を塗りやすい
足指の間がジクジクしている	軟膏剤	乾きが早い
足指の間が乾燥してカサカサする	液剤	細かい部分に使いやすい
	スプレー剤	手を汚さず、広い範囲に使える

OTC 水虫薬の使い方で注意したいこと

『エクシブ W ディープ 10 クリーム』の添付文書を一例として、添付文書の読み方を示しました。薬を安全に使うためには、添付文書をよく読み、内容を理解することが大切です。

△ 使用上の注意

❌ してはいけないこと
（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）
1. 次の人は使用しないでください。
本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
2. 次の部位には使用しないでください。
(1) 目や目の周囲、粘膜（例えば、口腔、鼻腔、膈等）、陰のう、外陰部等
 (2) 湿疹 (3) 湿潤、ただれ、亀裂や外傷のひどい患部

🗨️ 相談すること
1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。
(1) 医師の治療を受けている人 (2) 乳幼児 (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人 (4) 患部が顔面又は広範囲の人 (5) 患部が化膿している人 (6) 「湿疹」か「水虫、いんきんたむし、ぜにたむし」かがはっきりしない人 (陰のうにかゆみ・ただれ等の症状がある場合は、湿疹等其他の原因による場合が多い) (7) 妊婦又は妊娠している可能性のある人
2. 使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

関係部位	症 状
皮膚	かぶれ、刺激感、熱感、鱗屑・落屑（フケ、アカのような皮フのはがれ）、ただれ、乾燥・つっぱり感、皮フの亀裂、痛み、色素沈着、発疹・発赤*、かゆみ*、はれ*、じんましん* <small>*: 全身に発現することもあります。</small>

3. 2週間程度使用しても症状がよくなりえない場合や、本剤の使用により症状が悪化した場合は使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

- (1) 強い刺激を感じたり、吸収が促進されることがある。
- (2) 湿疹に対して無効。使用によってかえって悪化することもある。
- (3) 強い刺激を感じたり、症状が悪化することがある。
- (2) 乳幼児は皮膚の浸透性が高く、刺激があらわれやすい。また、乳幼児の水虫と湿疹の見分けは一般の人には難しい。
- (4) 患部が顔面の場合、目や鼻腔など刺激を受けやすい。患部が広範囲な場合、たくさん使うことにより副作用が出やすい。
- (5) 二次感染を併発して重篤化の恐れがあるため、受診を。
- (7) 妊婦や妊娠の可能性のある人に対する安全性が確立していない。

2週間程度使用して効果がない場合、白癬菌が原因でないか効果不十分と考えられるため、皮膚科受診を推奨する。

セルフケアとして心がけたいこと

毎日の入浴で患部を清潔に保つこと、吸湿性のよい靴下をはき湿気を避けることが大切です。水虫薬は患部より少し広めに塗布すること、かゆみ等の症状が治まっても白癬菌が角質の奥深くに入りこんでいる可能性があるため1～2ヵ月継続して使用することが大切です。